

株式会社 FRONTIER

2023年度 最新情報

1分でわかる IT導入補助金

目次

- 01 IT導入補助金とは
- 02 類型紹介
- 03 IT導入補助金の対象者は？
- 04 3STEPでわかる
IT導入補助金申請フロー
- 05 2023年度
IT導入補助金申請スケジュール
- 06 終わりに

こんなお悩みはございませんか

ECサイト・MAツールやバックオフィスを導入したいけど、費用が高い
話題のDXを導入したいけど、どうしたらいいのかわからない

そんなお悩みをお持ちの皆様！
IT導入補助金について、
わかりやすくご説明いたします。

IT導入補助金とは？


ECサイト制作や、MAツールやバックオフィスなどのデジタルマーケティングを導入したいときに、最大450万円の金銭的サポートが受けられます！

中小企業、小規模事業者が自社の課題解決や業務効率向上のために「ITツール」を導入する際、その経費の一部を補助する補助金のこと。

IT導入補助金には、

「通常枠」と「デジタル化基盤導入型」2つのタイプがあります。どちらかのタイプのみの申請、2つのタイプに申請する併願申請、どちらも可能です。


通常枠 (A・B類)

 費用の1/2、
5~450万円の補助

	※プロセス数	補助金額
A類型	1以上	5~150万円 未満
※B類型	4以上	150~450万 円以下

※プロセス：労働生産性が改善される見込みのある業務の工程

※ B類型を選択する場合、**賃上げが必須**要項


 ITツールの種類
に**制限なし**

それぞれの業務課題に合わせた
様々なITツールが補助対象

※ただし事務局が定める大分類に該当するITツールに限る




デジタル化基盤導入類型

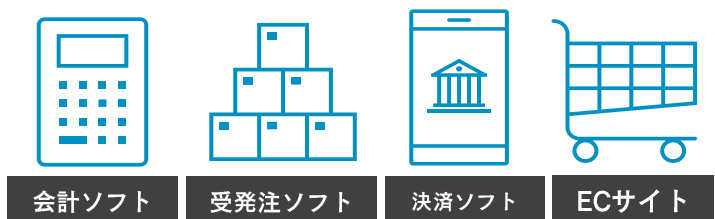
 費用の3/4、
もしくは2/3、
~350万円の補助

	機能要件※	補助金額
補助額 3/4	1機能以上	内、~50万 円以下
補助額 2/3	2機能以上	内、50~ 350万円

※機能要件：会計ソフト、受発注ソフト、決済ソフト、ECサイトのうち、導入するITツールが有する業務機能のこと


 ITツールの種類
に**制限あり**

会計ソフト、受発注ソフト、
決済ソフト、ECサイトが補助
対象



 クラウド利用料最大2年間補助



 IT導入支援事業者による
手厚いサポート



 クラウド利用料最大2年間補助

 ハードウェア購入費も補助対象
※ソフトウェアの導入と併せて購入する場合のみ

IT導入補助金の対象者は？

IT導入補助金の対象事業者は、**小規模事業者と中小企業**です。

業種によって必要要件が異なりますので、本スライドの表を参考にしてください。

中小企業

業種	資本金	従業員数 (常勤)
製造業、建設業、運送業、 ソフトウェア業、情報処理 サービス業	3億円	300人
ゴム製品製造業	3億円	900人
卸売業	1億円	100人
サービス業	5,000万円	100人
旅館業	5,000万円	200人
小売業	5,000万円	50人
その他の業種	3億円	300人

その他法人

業種	従業員数 (常勤)
医療、社会福祉、学校法人	300人
商工会、都道府県商工会連合会及び 商工会議所	100人
中小企業支援法第2条第1項第4号に 規定される中小企業団体	主たる業種に記載の従業員規模
特別の法律によって設立された組合 またはその連合会	主たる業種に記載の従業員規模
財団法人（一般・公益）、 社団法人（一般・公益）	主たる業種に記載の従業員規模
特定非営利活動法人	主たる業種に記載の従業員規模

小規模事業者

業種	従業員数 (常勤)
商業・サービス業	5人以下
サービス業のうち宿泊業・娯楽業、 製造業その他	20人以下

3STEPでわかる IT導入補助金申請フロー

ここでは、IT導入補助金申請を3つのステップに分けてご説明します。
次ページから、ステップごとに申請フローをご説明します。



事前準備

STEP1

1. IT導入支援業者の選定

2. gBizIDプライム
アカウントの取得

3. SECURITY
ACTIONの宣言

4. 必要書類の準備



gBizIDとは

申請から約2週間後に発効

複数の行政手続きを1つのアカウントで利用できる認証プラットフォーム。
交付申請時に、gBizIDプライムアカウントが必須。

【必須書類】

- ・ 印鑑証明及び印鑑登録証明書

SECURITY ACTIONとは

10分程度で発効可能！

中小企業・小規模事業者が情報セキュリティ対策に取り組むことを「自己宣言」する制度。
交付申請時には「★一つ星」もしくは「★★二つ星」を宣言することが要件となる。

- 履歴事項全部証明書（3か月以内）
- 法人税の納税証明書（その1またはその2）

申請・交付決定



STEP2



5.申請マイページの開設

申請マイページの開設

IT導入支援事業者より申請マイページに招待を受け、マイページの開設を行う。



6.交付申請情報を入力する

交付申請情報を入力する

申請マイページから交付申請の作成を行う。

申請者の基本情報以外については、

申請者側からの情報に基づき、IT導入支援業者が代理で入力する。



7.事務局へ 交付申請を提出

事務局へ交付申請を提出

申請者側で最終確認・SMS認証を行った後、交付申請を提出する。



8.交付決定、 ITツールの発注へ



STEP3



9.事業実績報告



10.補助金交付



11.事業実施効果報告

事後報告

事業実績報告

ITツールを発注・契約、納品、支払い等をした信憑を事務局に提出する

補助金交付

例年の情報に基づくと、2週間～1か月で事務局より補助額が振り込まれる

通常枠（A・B類型）

生産性向上に係る指定の情報について、事務局へ一定期間報告する義務有。

本年度は2025年～2027年まで年1回、**合計3回の報告を行う義務有。**

デジタル化基盤導入枠

導入したITツールを継続活用していることを示す書類とインボイス制度への対応状況を、

2024年10月に報告する義務有。

2023年度

IT導入補助金申請スケジュール

2023年度4月現在公表されている今年度のIT導入補助金申請スケジュールです。

通常枠（A・B類型）は約1か月に1度、デジタル化基盤導入枠は約2週間に1度、申請のチャンスがあります。

通常枠（A・B類型）

	申請締切日（予定）	交付決定日（予定）
第6次締切分	10月2日(月) 17:00	11月6日(月)
第7次締切分	10月30日(月) 17:00	12月4日(月)
第8次締切分	11月27日(月) 17:00	1月9日(火)

デジタル化基盤導入枠

2023年10月現在

	申請締切日（予定）	交付決定日（予定）
第9次締切分	10月2日(月) 17:00	11月6日(月)
第10次締切分	10月16日(月) 17:00	11月20日(月)
第11次締切分	10月30日(月) 17:00	12月4日(月)
第12次締切分	11月13日(月) 17:00	12月18日(月)
第13次締切分	11月27日(月) 17:00	1月9日(火)

終わりに

さあ、ここまで2023年度IT導入補助金について、ご説明してきました。

フロンティアでは、お客様の課題に合わせた最適なプランをご提案いたします。

提案から制作後まで経験豊富なスタッフが誠心誠意、皆様のサポートをいたします。

「もっと詳しく話を聞きたい」「IT導入補助金申請をお願いしたい」

そんなときは、ぜひお気軽に株式会社フロンティアにお問い合わせください。



相談・補助金申請無料

052-853-9890

【受付時間】 9:00～18:00 (定休日:土・日)

〒467-0066

名古屋市瑞穂区洲山町二丁目14番地 水野ビル2F

株式会社フロンティア

Copyright © FRONTIER All rights reserved.